

2016年11月24日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 438

リカレント・キャリア形成支援と大学の責務

～職業実践力育成P・履修証明Pの活用／教育訓練給付・助成金の活用～

ご参画・ご派遣のお願い

18歳年齢層のさらなる減少を眼前に、各大学におかれましては、社会人（在職者）・起業チャレンジャーやリタイア層対象のリカレント・市民教養等の生涯学習プログラムの本格展開に鋭意、チャレンジのことと拝します。

確かに、OECDの社会人入学者割合の国際比較（2013年）においても、日本は「学士課程」1.8%で、平均17.6%より非常に低く、「修士課程」ではOECD平均は30%ですが、14%、「博士課程」において、やっと平均の36%となっております。まさに、社会人マーケットへの大学のアプローチは最重要といえましょう。

AI・ICTの進展の中でのキャリアアップに向けて、“履修証明P”、“職業実践力育成P”制度の活用や教育訓練給付・助成金等の雇用施策を積極的に活用して、教育・研修プログラムを企画・立案・実行していきましょう。

本セミナーでは、3大学の先進事例について、ベスト講師によるご報告とご助言をいただきます。

東京電機大学の大河内氏からは、著しい増加が予想されるサイバーセキュリティ要員ニーズに応える特別コースのプログラムの実際～カリキュラム・在籍状況・受講料・履修証明等について、ご講義を賜われます。

立教大学の加藤氏からは、シニア世代の「学び直し」・「再チャレンジ」支援のRSSCのカリキュラムと運営、学費システムについて、ご講義を賜われます。

名古屋商科大学の栗本氏からは、MBAのエッセンスを体系的に学ぶプレプログラム・コース、高卒可で週末、名古屋・東京・大阪の3大都市開講の特色をご報告いただきます。